

北海道新聞

平岸の歴史を訪ねて

自然史編

第4回、母なる豊平川と二つの扇状地②

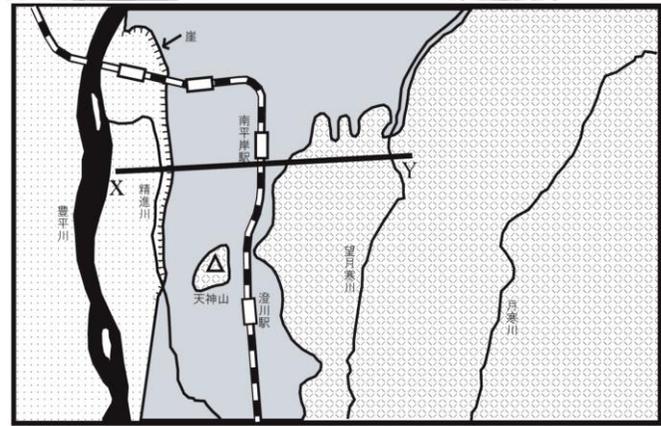


図1. 平岸の地形区分
 現豊平川扇状地 旧豊平川扇状地 支笏火砕流堆積物
 X—Y 地形断面線

前回、平岸地域は①現豊平川扇状地②旧豊平川扇状地③支笏火砕流の3つの要素から成り立っていることを説明しました(図1・2)。今回は①と②の新旧二つの扇状地の成り立ちについて述べたいと思います。支笏火砕流によってせき止められた豊平川は、現在の石山から藤野あたりを中心に大きな湖(古藤野湖)となりました。やがてこの湖は決壊しますが、その後の豊平川の流れは、現在とは全く違うコースを流れていました。今の豊平川は真駒内の西側、つまり石山から藻南・川沿を経由し、軍艦岬を経て平野部に流れています。当時の豊平川(旧豊平川)は、石山陸橋のあたりから、北海道警察学校付近へ抜けて、地下鉄南北線真駒内駅前を通り、澄川・平岸方面へ流れていたと考えられています(図3)。

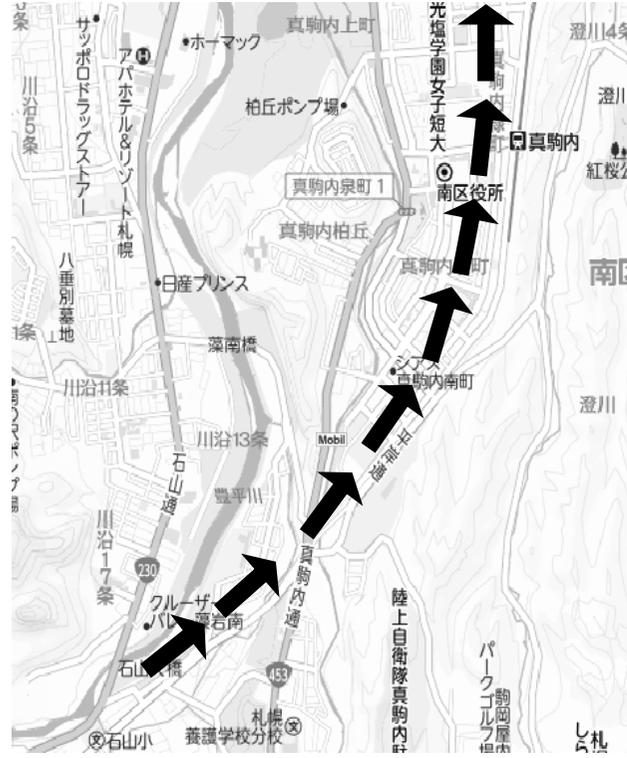


図3. 1万年前までの旧豊平川の流れ。石山陸橋から真駒内へ抜け、澄川・平岸方面に扇状地を形成していた(旧豊平川扇状地)

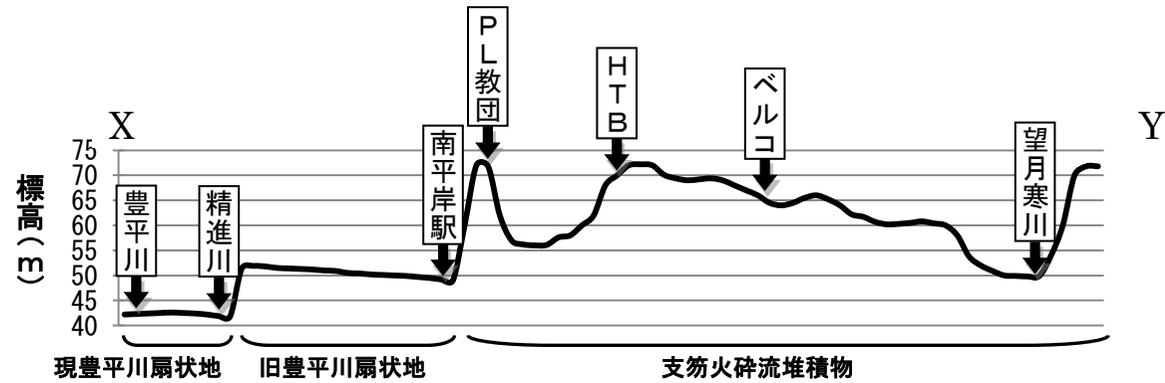


図2. 白石藻岩通り沿いの豊平川～望月寒川間の地形断面図
 大正7年大日本帝国陸地測量部発行2万5千分の1地形図および昭和44年札幌市現況図をもとに作成。

なぜそんなことがわかるかというと、旧豊平川が運搬した砂礫でできた扇状地の地形が今でもはっきりと残っているからです。この扇状地(旧豊平川扇状地)は真駒内を基点に、菊水付近まで南北に細長く広がっています。扇状地は文字通り上から見ると扇子の形と似ていることからこの名がありますが、扇子の基点部分(扇頂)は河川が山地から平野に移る場所にできるので、当時の豊平川が真駒内付近を基点により下流の澄川・平岸方向へ流れていたことがわかるのです。旧豊平川は、支笏火砕流堆積物を削りながら砂礫を運び、扇状地を菊水付近まで拡大しました。天神山はこのときに削り残された支笏火砕流堆積物の一部です。支笏火砕流は現在堆積物が残っている場所よりもずっと広い範囲に分布していましたが、旧豊平川などにより削り取られ、今の分布になっているといえます。

今から約1万年前氷河期が終わって気候が湿潤になり、豊平川の浸食力が強まってくると豊平川は流路を大きく変え、現在の流れ(石山↓藻南↓川沿ルート)に変わります。それ以前にできていた旧豊平川扇状地を大きく削り取りながら、札幌駅を越えて北海道大学のあたりまでより大きな扇状地を形成しました。このときにできた崖が平岸の名前の由来となった精進川沿いの崖です(写真1)。

精進川は今でこそ水量も少ない小さな川ですが、もともとは豊平川の分流の一つであり、昭和に入ってから治水工事のため豊平川から切り離されるまでは豊かな水量が流れ、度々洪水を引き起こしていました。今回は豊平川の歴史について述べたいと思います

参考資料 前田寿嗣(2007).『歩(ハイク)！札幌の地形と地質』.136pp. 北海道新聞社

バックナンバーお届けいたします…バックナンバー保管してありますので、ご希望の方は販売所までお気軽にご連絡ください。ご自宅までお届けいたします。

取材協力のお願い…この連載では今後現代にいたるまでの平岸の歴史を紹介する予定です。昔の思い出や資料・写真など平岸の歴史に関わることをご存知の方はどんなことでも結構ですのでお気軽にお知らせいただけると幸いです。

「編集後記」

↓ダウンロードできないものを↓

ロック歌手矢沢永吉さんは糸井重里さんとの対談※の中で「インターネットがますます普及していく中で、これからはダウンロードできないものしか残らない時代になる。で、俺にとってダウンロードできないものって何だろうと考えた時にライブだ！とわかったんだ」と述べています。これを新聞業界にあてはめて考えてみると、全国ニュースはニュースサイトやアプリから簡単に手に入れることができます。しかし、ローカルな情報はネットからは手に入れることができません。矢沢さんがライブに情熱を注ぐように、私たちは地元平岸の情報の発信に力を注いでいきたいと思っています。

※2007.6.6 ほぼ日刊イトイ新聞より

執筆者：道新永田販売所営業主任 伴野卓磨

1977年室蘭市生まれ。金沢大学理学部地球

学科博士課程(古生物学専攻)を修了後、六花亭に入社。2011年より現職。

◇発行元◇

(有)北海道新聞永田販売所

〒062-0936

札幌市豊平区平岸6条13丁目7-18

TEL: 0120-128-348

Fax: 0120-128-358

◆この連載は毎月1日・15日の道新朝刊に折り込みいたします



写真1. 旧豊平川扇状地を浸食しながら作られた現豊平川扇状地